

特色ある学校づくり推進事業 ～校内研修を通して～

守谷市立松ヶ丘小学校

1 はじめに

本校では、「豊かな心をもち 自ら課題を見つけて学習し 健康でたくましく生きる 児童を育てる」の学校教育目標の達成のために、「確かな学力を身につけさせる教育」・「豊かな心を育む教育」・健康や体力を育む教育」・「小中一貫教育」・(家庭・地域と連携し、信頼される学校づくり)・「校内研修の充実による、指導力・授業力の向上」を教育推進の重点事項とし、特色ある学校づくりのために教育活動を展開してきた。

2 実践

○ 国語科における授業研究

研究テーマを『自らの考えをもち、豊かに表現できる児童の育成』サブテーマとして「伝え合う力を高める国語科を中心とした授業づくりを通して」とし自分の考えを表現できる児童を目指し、一人1回の研究授業を行い授業力向上に努めてきた。また、「伝え合う力」を高めるための系統表を作成し、それが身に付いた児童の姿を次によりとらえた。

【「伝え合う」ために必要な能力の系統表】

	受け止める力	くわしく質問する力 くわしく答える力	練り上げる力
低学年	<ul style="list-style-type: none"> ○話す相手に身体を向け、正しい姿勢をとる。 ○話を最後まで聞き、正しく聞き取る。 ○話に反応しながら聞く。 ○復唱する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○分からないことや詳しく知りたいことを尋ねる。 ○尋ねられたことに適切に答える。 ○話の内容に関連したことを話す。 ○自分の体験や感想、考えを入れて話す。 	<ul style="list-style-type: none"> ○互いの話を集中して聞き、話題に合わせて話を進める。
中学年	<ul style="list-style-type: none"> ○相手が話しやすいように共感的な表情で聞く。 ○相手を尊重し、相手の言いたいことを理解しようとして聞く。 ○相手の話した内容をまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○理由や根拠を尋ねる。 ○相手の考えを踏まえて自分の考えを話す。 ○自分の考えとの共通点や相違点を明らかにして話す。 ○相手の考えを踏まえて補足したり、まとめたりして話す。 	<ul style="list-style-type: none"> ○話の目的や主題を踏まえて聞き、話を進める。 ○互いの考えの共通点や相違点を考え、自分の考えをはっきりさせて話を進める。
高学年	<ul style="list-style-type: none"> ○相手が話しやすいように共感的な表情で聞く。 ○相手を尊重し、相手の意図を理解しようとして聞く。 ○相手の話を聞いた上で、自分の意見をまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○相手の意図を尋ねる。 ○相手の思いや意図を汲み取って自分の考えを話す。 ○相手の話に自分の知識などを付け加えて話す。 ○違った視点を提案し、話を広げて話す。 	<ul style="list-style-type: none"> ○互いの考えの共通点をはっきりさせ、整理した上で、新たな視点をもって話を進める。 ○よりよいものを目指し、意見を練り上げ、話を進める。



4年1組(国語授業)



2年2組(国語授業)



6年1組(国語授業)

3 成果と今後の課題

(1) 成果

- ・国語科の授業を通して、多くの交流活動を取り入れたことにより、自分の考えや意見を、自分の言葉で表現できる児童が多くなってきた。さらに、学力診断のためのテストによる検証では授業研究の充実が図れ、プラスの結果が出ている。

(2) 課題

- ・授業研究をさらに進め、授業力向上を図っていききたい。また、他の教科においても、国語科で実践してきた、伝え合う力を高める授業の工夫を実践していききたい。



業間の体力向上(持久走)



業間の体力向上(長なわとび)

(3) のびのび下校の実施(児童と向き合う時間の確保)

ア 水曜日、木曜日、金曜日をのびのび下校として、学年での集団下校ではなく、自由に近くの友達と下校できるようにし、児童と向き合う時間を確保した。

イ 補足的な学習の実施

学年や学級で放課後を利用して補足的な学習を進めた。特に算数の計算や宿題等につまずいているところの学習支援を行った。

ウ 教育相談の実施

いじめに関するアンケートを実施後、じっくりと児童と話をすることがないため、放課後の時間を有効に使い児童理解につなげた。

エ パトロールの強化

今年度はやさしく見守り隊を結成し登下校の安全を地域の方々に協力していただいている。職員による放課後の青パトでの巡視を行い安全確保に心がけている。

(4) 食の教育の充実

ア 各教科、総合的な学習の時間等年間指導計画への位置付け

イ 給食週間による残さい調べを行い栄養指導につなげた。また、給食月間では、保護者との連携を図り朝食や食事のマナーについてコメントをいただき食について考える時間を作った。



わらざいく体験学習

6月は食について考える月間です

氏名	姓	名	学年	性別
1. 朝食を食べましたか?				
2. 給食を食べましたか?				
3. 給食を食べたとき、残さしませんでしたか?				
4. 給食を食べたとき、残さしませんでしたか?				
5. 給食を食べたとき、残さしませんでしたか?				
6. 給食を食べたとき、残さしませんでしたか?				
7. 給食を食べたとき、残さしませんでしたか?				
8. 給食を食べたとき、残さしませんでしたか?				
9. 給食を食べたとき、残さしませんでしたか?				
10. 給食を食べたとき、残さしませんでしたか?				

食について考えるカード